

宮代シルバー通信

44

公益社団法人
 宮代町シルバー人材センター
 埼玉県南埼玉郡宮代町山崎3番地
 TEL0480-37-1353 FAX0480-37-1951
 e-mail miyashiro-sjc@rondo.ocn.ne.jp
 会員数 180名(男128、女52)



渋沢栄一揮毫「士魂高才」の額



渋沢栄一揮毫「至誠」の額



おやまりんどう 花言葉：正義



ふるさと自慢より

【紙面案内】 1頁 深谷商業高等学校記念館

3頁 歳時記・職場だより・雑感

2頁 ふるさと自慢・町内小学校パトロール協力者募集

4頁 事務局からのお知らせ

ふるさと自慢

日本経済の父
日本実業界の父
日本資本主義の父
壱萬円札の顔になる男
郷土の経済の先覚者が渋沢栄一氏である



国の登録有形文化財 深谷商業高等学校記念

深谷は私のふる里・渋沢栄一氏のふる里でもある

当センター会員の皆さんは、「深谷はどんなところですか」との質問で何を思いうかべますか。大半の方は「深谷ネギ」ではないでしょうか。

又、東京駅に似たレンガ造りの駅舎でも有名です。

食べ物では「煮ぼうとう」ですね。渋沢栄一氏も郷土に帰ると好んで食べていた様です。幅広の麺に特徴がありますね。学校給食にも良く出て生徒達も好んで食べてるようです。その時は勿論深谷ネギを沢山入れてほしいですね。

深谷の東北にある私の母校

は大正10年に深谷商業高等学校として開校しましたが、開校にあたり町商工会を中心に町を挙げての商業学校設立運動が興ると渋沢栄一氏は関係者を励まし、助力を惜しみませんでした。そして、その翌年の10月に学校に赴いて講演と植樹を行い、「至誠」「士魂商才」を額に残しました。これを校訓として翁の遺訓として残してあります。

また、2024年壱萬円札が発行されると新しい感謝の気持ちがあふいてくるでしょう。

14班 茂木忠二

<参考>

深谷商業高等学校
校歌

深谷の東北ここに見る

巍峨壮麗の二層楼

未来の望 身を駆りて

寸時を惜しむ蛭雪の

質素剛健一筋に

至誠の道に いそしまん

ご協力頂いた出版社の紹介

「渋沢栄一の深谷」

さきたま出版会発行

共著 河田重三・清水勉両先生の

ご了解をいただき写真他を使用

させていただきました。

ご厚意感謝申し上げます。



町内小学校の
パトロール協力者募集

大阪教育大学付属池田小学校の事件(H13)をきっかけに、宮代町役場より、小学生の見守りの依頼を受けました。最初は有料でしたが諸事情によりボランティアとなり、現在に至っております。町内4小学校(笠原小・須賀小・東小・百間小)で生徒の登下校の安全を守る為のパトロールです。今回は協力者を募集しております。

笠原小学校の場合、全生徒は486人です。パトロール対象は一年生の91名ですが、半数は学

童ですので45名程度になります。朝の登校は上級生と一緒に登校しますので、問題はありませんが午後の見守りが必要となります。月曜日・木曜日は14時半から、それ以外は15時5分から帰宅の組み分けごとに1名つきます。

笠原小学校の校長先生の要望としては、下校時の生徒の安全を考え、交差点・四つ角・人通りの少ない道路で黄色のベストを着て立っていただくだけで助かるとのお話でした。

多くの協力者をお待ちしております。協力して下さる方は事務局まで申し出て下さい。



写真は笠原小学校の下校の様子です。

歳時記

「初山」

Tさんからのお祭りの様子が投稿されました。

初山は生まれて初めて七月一日を迎える子供が浅間神社にお参りする子供のお祭りである。浅間神社にお参りすると富士山に登った事と同じ意味を持つとされる。お祝い膳には赤飯やタンキリ飴・キュウリ・カニカマ・鶏肉・梅干し・玉子・ナス・インゲンを黒ゴマで和えたもの。トマトをくり抜きその中にポテトサラダを入れた器に「うちわ」を添える。



「七夕祭」

五節句の一つで七月七日に行う星祭りの行事である。天の川の西岸にある牽牛星と織姫星とが年に一度相会するという。日本では、奈良時代から行われ、江戸時代には民間にも広がっていった。縁側に供物を供え、庭には葉竹を立て五色の短冊に歌や文字を書き、書道や裁縫の上達を祈った。七夕に雨が降ると神様が会えないので疫病が流行しないと病気の人は病を流してくれるなどの言い伝えもある。七夕はお盆への道案内とされる。



職場だより トクホンの巻

皆様肩が凝る、打ち身などした際には「トクホン」を貼ることがありますね。そのトクホン(株)宮代工場様に当センターは、古くからお世話になっています。

HPより、トクホンという名の由来を調べてみました。江戸初期の医者トクホンの神様に永田徳本という人がいてその生き方に感銘を受けた社長が、人々に恩恵を与える「徳」、痛みや炎症を「溶く・解く」から「トクホン」の名が出来たということです。その後、社名までトクホン株式会社にしたということです。

我々トクホン班は、関根昇さん、坂巻清さん、大平恒雄さんと私の4名で構成されています。仕事は「工場の美化・整備」で約96,000㎡の敷地を持つ工場の本木の剪定、建物の周り、空き地、野球場、ゴルフ練習場の草刈りを主に行っています。

また、構内に約90本植えられている梅の木を冬に剪定・施肥し、春に実の収穫を、また竹林の整備のため筍を採ります。それを会社が従業員の方々にくばられています。

夏季は炎天下のもと熱中症防

止のためこちらの会社から冷水機を設置して頂いています。

また、我々は独自に通風服を購入し、着用して就業しています。野外の作業が主な仕事ですから、メンバー共々体調には万全を期して作業しています。

梅澤俊雄



今こそ笑いが

雑感

「つれづれなるままに、日ぐらしすずりに向かいて・・・」何か仕事でも来ないかと中学時代に学んだ本の出だしに似たような、悶々とした毎日です。コロナ禍で、不要不急な外出控え要請を守って、囲碁仲間とも会わず、下手なカラオケにも行かず、美人の先生方が教えてくれる健康体操も中止。「忍」の一字だけが威張っています。先日、世間話の中である人が「コロナはいつ終息するのかねえ」といったので「9月

23日頃でしょう」と答えました。「なんで？」と聞いたから、「昔から言うでしょ、暑さコロナも彼岸まで」と答えました。途端に「面白い！」と笑ってくれた人もいれば、真面目顔で「それって暑さ寒さでしょう」と、言う人がいました。私は悩んでしまいました。今こそ「笑」が必要なのに・・・

こうなったら、徒然草(つれづれなるままに・・・)でも読んで教養と笑いを身に付けようと思います。1分も経たないうちに、枕がわりになっていると思いますが・・・ (M.K)

事務局からのお知らせ**配分金支払日**

11月分 12月20日 (月)
 12月分 1月20日 (木)
 1月分 2月21日 (月)

会員募集のお知らせ

センターでは毎月第2火曜日午後1時30分から当センター事務所において入会説明会を開催しています。町内のお知り合いの方にご案内ください。

11月 9日 午後1時30分
 12月14日 午後1時30分
 1月11日 午後1時30分

新型コロナウイルス対策

まだまだ新型コロナウイルスの感染は終息を見せておりません。デルタ株の感染力が強く、近隣の市町村を含めて感染の拡大が続いております。基本的な感染防止対策を行って、感染しないように、十分に注意しましょう。万一コロナウイルスに感染した場合には、所定の手続き後、速やかに事務局に連絡をしてください。

就業上の注意事項

近年隣人トラブルがニュースで報じられることが多々あります。センターの事業でも発注者の方の近隣の方から苦

情をいただくことが少なからずあります。作業を行う時には、可能な限り隣近所に声をかけてください。

8月9月入会者氏名

新井とし子さん
 関根 邦治さん
 浅井 国子さん
 以上の3人です。

消費税について

前回に引き続いて、消費税についてのお話です。皆様は、消費税に関する「インボイス制度」というものをご存じですか。

何のことが分からないという方がほとんどだと思いますが、これは消費税に関する新しい制度のことで「適格請求書等保存方式」というもので、令和5年10月より開始されます。この制度は、複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式として導入されるものです。

事業者（いわゆる課税事業者）は、相手先に請求書を発行するときは、消費税額を明確に記載した適格請求書を発行し料金を回収します。料金を支払う場合は、適格請求書にもとづき支払うこととなります。この場合この事業者は、適格請求書を発行し徴収した

仮受消費税から適格請求書に基づき支払った仮払消費税を仕入控除し差額を国へ納付することとなります。したがって、適格請求書にもとづかない請求書に対して支払う場合は、消費税は発生しません。年間1,000万円以下の事業者は、免税事業者とされており消費税の納税が免除されておりますので、このインボイス制度が実施されると、免税事業者は、適格請求書の発行ができないため、消費税を請求することができません。

課税事業者が免税事業者に仕事を依頼した場合、課税事業者は、免税事業者に対し、免税事業者は適格請求書が発行できないため、消費税を含まない金額を支払うこととなります。また、課税事業者が免税事業者に対し、消費税を含んだものとして支払っても、その消費税は仮受消費税の仕入控除対象にはなりませんので、課税事業者の消費税納付負担額が増加します。

シルバー人材センターの会員の多くは、1,000万円以下の免税事業者ですので、シルバー人材センターは、この制度の影響を大きく受けるものと思われる。どのような影響が出るかは次号にてお知らせします。

編集の小徑

▼“ふるさと自慢”は、前月号に引き続き今回3回目が掲載されました。それぞれにすばらしいふる里をお持ちです。皆さんも生まれ育った懐かしい故郷、忘れがたき故郷を紹介してみたいかがでしょうか。ひょっとしたら同郷の方が出て、会員同志の新しいつながりができるかもしれません。皆様のための皆様の通信です。是非あなたのお便りお待ちしております▼毎号の1ページの右上に小さなさ

し絵が入っています。その季節折々の植物などを中心に掲載しております。この通信全体を和ませてくれているのは、このさし絵です。通信の大切な役割を担っております。絵は会員の竹田都さんが毎回心をこめて描いてくれています。皆さんこれからも毎号楽しみに見て下さい

▼まだまだ新型コロナウイルス予防対策を徹底して行い、自分の命は自分で守りましょう。

